

## 再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	主要地方道名古屋津島線（七宝工区）				
事業箇所	愛知県あま市七宝町下田地内				
事業のあらまし	<p>主要地方道名古屋津島線は、名古屋市中区から津島市江東町に至る延長約 19km の路線であり、海部地域の東西軸として、地域の産業・経済・文化の発展に資する重要な路線である。また、第一次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間周辺では、海部地域の東西軸が脆弱なため、現道や並行する主要地方道あま愛西線などで朝夕の通勤ラッシュ時を中心に渋滞が発生している。また、現道は道路幅員が狭く、歩行者の安全性が確保されていない。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」「交通安全対策の強化」「地震・津波対策の推進」を主な目的とし、あま地域における交通の円滑化と周辺の渋滞を緩和するとともに、歩道設置による交通安全の強化、そして、大規模災害時等に高規格道路等へのアクセス性を向上させて、円滑な救援・復旧活動を行うため、主要地方道名古屋津島線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b></p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>(3) 地震・津波対策の推進</p> <p><b>【副次目標】</b> ー</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H24)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 24 年度～33 年度	平成 24 年度～33 年度		
	事業費（億円）	14.9	14.9		
	経費内訳	工事費	6.4	6.4	
		用補費	7.1	7.1	
その他		1.5	1.5		
事業内容	バイパス整備 延長 L=0.44km 幅員 W=30m 2/4 車線	バイパス整備 延長 L=0.44km 幅員 W=30m 2/4 車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p><b>【事業採択時の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地方道名古屋津島線の道路幅員は 9m と狭小であり、慢性的な渋滞が発生しており、災害などの緊急時に支障をきたすと危惧されている。</li> </ul> <p><b>【再評価時の状況】</b></p> <p>①人の交流を支え地域を活性化する基盤整備（渋滞緩和）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿線状況に大きな変動は見られないが、平成 22 年度道路交通センサスの交通量は 16,831 台/日、混雑度は 1.14 となっているとともに、H25 年に主要渋滞箇所指定されている。</li> </ul> <p>②交通安全対策の強化（歩道設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道の歩道幅員は狭隘であり、歩行者などの安全性の確保が必要である。</li> </ul> <p>③地震・津波対策の推進（広域的な防災機能の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地方道名古屋津島線は第一次緊急輸送道路に指定されている。</li> </ul> <p><b>【変動要因の分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道区間は、H25 年に主要渋滞箇所指定され、朝夕の通勤ラッシュ時を中心に渋滞が発生しているため、渋滞対策が必要である。</li> </ul>			

②事業の進捗状況及び見込み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道の歩道は狭隘であり、歩行者の安全性の確保は、依然として必要性が高い。</li> <li>・第一次緊急輸送道路に指定されている。</li> </ul>																																																																																												
	判定	<p><b>B</b></p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。          B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。          C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道区間はH25年に主要渋滞箇所指定され、依然として朝夕の通勤ラッシュ時を中心に渋滞が発生している。また、現道の歩道は狭隘であり、歩行者の安全性が確保されておらず、事業の必要性は依然として高い状況であるため。</li> </ul>																																																																																												
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H20~H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地・補償</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td></td> <td colspan="5">9.7</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4.3</td> <td colspan="5"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>—</td> <td>0.44</td> <td>—</td> <td>0.44</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>—</td> <td>4.3</td> <td>—</td> <td>14.9</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>6.4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>—</td> <td>3.8</td> <td>—</td> <td>7.1</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>—</td> <td>0.5</td> <td>—</td> <td>1.5</td> <td>33%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地進捗率は約69%</p>			H20~H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	工種区分	調査・設計	←		→					用地・補償	←			→				工事				←			→	事業費(億円)	計画		9.7					0.9	実績	4.3								これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	—	0.44	—	0.44	0	事業費(億円)	—	4.3	—	14.9	29%	工事費	—	0	—	6.4	0	用補費	—	3.8	—	7.1	54%	その他	—	0.5	—	1.5	33%
			H20~H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33																																																																																					
工種区分	調査・設計	←		→																																																																																										
	用地・補償	←			→																																																																																									
	工事				←			→																																																																																						
事業費(億円)	計画		9.7					0.9																																																																																						
	実績	4.3																																																																																												
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																										
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																									
延長(km)	—	0.44	—	0.44	0																																																																																									
事業費(億円)	—	4.3	—	14.9	29%																																																																																									
工事費	—	0	—	6.4	0																																																																																									
用補費	—	3.8	—	7.1	54%																																																																																									
その他	—	0.5	—	1.5	33%																																																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了予定年度に変更なし。</li> </ul>																																																																																													
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</li> </ul> <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成33年度までに整備が完了する予定である。</li> </ul>																																																																																													
判定	<p><b>A</b></p> <p>A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。          B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																													

	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業は順調であり、予定通り平成 33 年度までに整備完了が見込まれるため。</li> </ul>
<p>Ⅲ 対応方針</p>	
<p><b>継続</b></p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでも C 判定があるもの。          継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後 5 年目）    □対象外</p> <p>【事業完了後 5 年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況</li> </ul>	